

【事業名】新しい仕組みをみんなで考えよう！地域で輝く女性のための、（オンライン）ワールドカフェ ～これなら私もできる！誰もが参加しやすい環境づくりへ～

【趣旨】地域の女性リーダーが増えない理由1位が「知識、経験面での不安」、2位が「責任の重さ」という市民意識調査の結果がある。しかしながら実状は、会長職の仕事「量」の多さが問題であったり、矢面に立つのが嫌だから、そこは男性に任せたい等の裏の意識が隠されている可能性も、地域の声として聞こえてくる。そのため、調査結果のみでアクションを策定しても的外れな場合がある。まずは本音の掘り出しが必要と思われる。

課題	自治会やPTA等、小さな子どもがいる女性や、仕事をしている女性が活動するには仕事量、時間が厳しく、会長は更に仕事量や責任が増えるため、敬遠されやすい。取り組みやすく、「自分にもできそう」と思ってもらえるような、新たな仕組みが必要。				
目的	参加者の地域活動へのモチベーション向上、また、この事業をきっかけにリーダーシップ性の育成へ繋がりたい。				
対象	地域団体（自治会、PTA、社会教育関係団体等）に所属し活動している女性。16名～20名	連携先	自治会、PTA、社会教育関係団体		
目標	基点・基軸の形成		課題解決		振り返り
	男女共同参画推進意識の形成	現状把握	課題把握・課題共有	課題解決の方策の検討	課題解決のための行動
内容	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとして活躍する女性をまずは知ること。（ロールモデルが不足していると思われるため。）※市内で活躍する先輩リーダー2名 地域に女性リーダーが求められる背景から、リーダーが女性であることで得られたメリットについて講義。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身が所属する団体、及び会長職の仕事内容、量等を考えられる限り洗い出す。→ [現状の可視化] 他者と共有。「わかる！」を多く感じ、共感することで、次の課題把握、共有、方策の検討等で話しやすい空気間を作る。 ロールモデルの話から自分達の現状を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体活動を行う中で、自身の負担になっていること、また、こうだったらもっとみんな活動、参加しやすいのに！などについて、ブレインストーミングで話し合う※実現不可能と思われるもどんどん出す！→[本音の掘り出し] 話し合った内容をグループ内で取りまとめ、他グループと共有する。 可能であればFBグループ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 現状・課題をもとに、自分たちや周りが活動に参加しやすくなるための、実際に実現可能なアクションプランを作成（個人が所属する団体を想定したプラン）→ [宿題] グループ内で共有し、意見交換からプランのブラッシュアップを行う。 アクションプランを各グループで共有し、より良いと思うプランを全体へ発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで発表されたアクションプランを、PTA、自治会等各団体へ共有する。 センターのSNSで発信。※可能であれば市報でも発信。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ロールモデル（2名）からの講義 	<ul style="list-style-type: none"> ロールモデルからの講義 ワールドカフェ方式のディスカッション まちづくりコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> ブレインストーミング ワールドカフェ方式のディスカッション まちづくりコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 セルフワーク グループワーク まちづくりコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有（各団体、SNS等）
	1回目			2回目	

・ ・ ・
アンケータ
フロンティアアップ交流会の開催
継続事業へ展開（女性リーダー育成
事業）